

元気を失ったとき3

神の人モーセ

2009/10/25

最初の挫折

- ユダヤ人の子として生まれ、殺されるところだったが、幸運にもエジプトの王女に拾われ、息子として育てられることになった
 - 実母が乳母としてモーセを大きくなるまで育てた
- 同胞であるヘブライ人がエジプト人に打たれているのを見て、エジプト人を打ち殺した
- そのことはすぐにファラオに伝わり、モーセはエジプトを出てミディアンに逃げた

ミディアンでの40年・召命

- ミディアンで40年間羊飼いとして暮らした
- 80歳になったとき、ホレブ山のふもとで、神に語りかけられ、ヘブライ人を救うためエジプトに行くよう、命じられた
 - モーセは執拗に拒んだが、主は彼を説得した
 - 「ああ主よ。どうぞほかの人を見つけてお遣わしてください。」＜出エ4:13＞
 - モーセは自信を失い、自分の力に頼ることをやめていた

出エジプトまでの困難

- モーセのせいで苦役が更に重くなったので、民はモーセを非難した
 - 「あなたたちのお陰で、我々はファラオとその家来たちに嫌われてしまった。我々を殺す剣を彼らの手に渡したのと同じです。」＜5:21＞
- 葦の海を前にして民はモーセにかみついた
 - 「我々を連れ出したのは、エジプトに墓がないからですか。荒れ野で死なせるためですか。」＜14:11＞

荒れ野での苦労

□ お腹が空いた

- 「我々はエジプトの国で、主の手にかかって、死んだ方がましだった。」<出エ16:3>

□ のどが渴いた

- 「なぜ、我々をエジプトから導き上ったのか。... 家畜までも渴きで殺すためなのか。」<17:3>

□ 肉が食べたい

- 「誰か肉を食べさせてくれないものか。」<民11:4>

約束の地を目前にして

- 偵察隊の報告を聞いて怖じ気づいた民
 - 「エジプトの国で死ぬか、この荒れ野で死ぬ方がよほどまじだった。」「さあ、一人の頭を立てて、エジプトへ帰ろう。」＜民14:2-4＞
- コラたちの反逆
 - 「なぜ、あなたたちは主の会衆の上に立とうとするのか。」モーセはこれを聞くと面を伏せた。＜16:3-4＞
- 更なる反逆＜17章＞

たった一度の失敗

□ メリバでの出来事

- モーセが手を上げ、その杖で岩を二度打つと、水がほとばしり出た...
- 主はモーセとアロンに向かって言われた。「あなたたちはわたしを信じることをせず、イスラエルの人々の前に、わたしの聖なることを示さなかった。それゆえ、あなたたちはこの会衆を、わたしが彼らに与える土地に導き入れることはできない。」<民20:11 -12>

モーセの歌＜申命記32章＞

主は岩、その御業は完全で その道はことごとく正しい。真実の神で偽りなく 正しくてまっすぐな方。

主は荒れ野で彼を見いだし これを囲い、いたわり御自分のひとみのように守られた。

鷺が巢を揺り動かし 雛の上を飛びかけり羽を広げて捕らえ 翼に乗せて運ぶように

ただ主のみ、その民を導き
外国の神は彼と共にいなかった。

モーセの歌＜詩篇90篇＞

人生の年月は七十年程のものです。健やかな人が八十年を数えても／得るところは労苦と災いにすぎません。瞬く間に時は過ぎ、わたしたちは飛び去ります。

御怒りの力を誰が知りえましょうか。あなたを畏れ敬うにつれて／あなたの憤りをも知ることでしょう。

生涯の日を正しく数えるように教えてください。知恵ある心を得ることが出来ますように。

モーセがたどり着いた結論

- 主なる神は、必ず約束を守られる真実な方
- ご自分の民を何よりも大切にされ、責任を持って守り導かれる方
- 人生は労苦と災いに満ちている
- 神の力を決して軽んじてはならない
- 一日一日を大切に
- 人生には知恵が必要だ